

私達は、お客様に高品質・高付加価値の商品を提供し、企業の成長と発展に寄与します

ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私どもイワサキ経営グループは今年4月で創業から43年目を迎え、半世紀50周年もそろそろ視野に入って参りました。これもひとえに皆様方からの日頃の厚いご支持、ご愛顧があってこそのこと。社員一同、心より感謝しております。

時代の変化と共に、当グループに求められるもの

も大きく変わりつつあります。税務、会計業務を主軸に相続や保険、資産管理など、お客様のあらゆるニーズにワンストップサービスで応えられるよう、今年も各部門の専門性をより高め、精進してまいります。

新年度を迎え、社員一同、さらなる社業の発展に専心していく所存でございます。今年も変わらぬお引き立ての程、何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、新年は1月5日より平常通り営業致します。

2016 新年のごあいさつ



超お客様主義、現場主義で お客様の要望にお応えする

代表取締役社長 吉川 正明

昨年開催された当社主催の経営支援セミナー2015は、CoCo壺番屋の創業者である宗次徳二様に、「経営とは『継承』」というテーマでご講演をいただきました。その中で宗次氏が繰り返し言ってい

たことが、「超お客様主義、現場主義」という言葉です。

経営者自らが現場に足を運び、目を凝らし、耳を傾け、現場の空気を直に感じる事が重要で、徹底したお客様第一主義が、企業を成長させていくのだということを強く訴えられていました。

どんなに優れたサービス、商品があっても、それがお客様の要望に沿っていなければ意味がありません。弊社も、この宗次氏の教えを胸に刻み、常にお客様ひとりひとりの声に耳を傾け、様々なご要望にお応えできるよう精進してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

新年 あけまして
おめでとうございます。
本年も社員一同
社業発展に
専心する所存でございますので
昨年同様のご支持・ご支援を
賜りますよう
お願い申し上げます。

積善余慶

常務取締役 菊地 晃

「易経」の文言伝より「積善の家には必ず余慶あり」との言葉があります。

家族以外の人にもまでも善意を持った行いをしていれば、それが積み重なって自分自身の子供や孫の代にいたっても幸福に恵まれるとの意です。

人として事業者として小さな善いことの積み重ねが繁栄と承継の基本であります。夢や目標を達成するためにも日々まわりの人に感謝し実践していきたいものです。

本年もこの積み重ねを目指してより一層精進していきましょう。



お客様の喜びを自らの喜びとし 仕事に磨きをかけていく

代表取締役会長 **岩崎 一雄**

会計事務所の業務そのものは、どこの事務所でも何ら変わりはなく、だからこそ、お客様に当社を選んでいただくための付加価値が必要です。それは特別に何かをすることではなく、日々のルーチンワークの積み重ねの上に現れてくるものです。毎月のお客様訪問の際に、決算書からの緻密な検証、予測を実践し、経営が順調に進んでいるかどうかを診断する。それに基づいて短期、中期計画の方向性を見出し、日々の経営に反映できるようサポートする。こういった地道な業務をうまく循環させていくことが、経営の安定や業績の向上につながります。今や日本の企業全体の6～7割は赤字を抱えていると言われています。それをどう改善するかが、私たちに課せられた使命です。お客様の喜びを自らの喜びとし、日々のひとつ一つの業務に全力を注ぐ。それが仕事に磨きをかけるということです。

お客様の良き相談相手として、常に選ばれる会計事務所になれるよう、今年も社員一同一層の精進をしてまいります。



仕事以外の話もできるようになってこそ 良き信頼関係が生まれる

本部長 **岩崎 千鶴子**

約40年間、この仕事に携わってきました。今振り返りますと、多くの方々との深い信頼関係に支えられて、ここまでやってこれたのだと思います。最初は仕事から始まったおつきあひも、気がつけばプライベートの部分でも親交が深くなり、趣味や地域活動などさまざまな場面で、良き友人知人に恵まれました。人と人が親しくなるためには、やはり対話が必要です。仕事の話をしたらそれで終わりではなく、何か一つでもお客様の興味がありそうな話をしてみる。そういったプラスアルファの雑談力、コミュニケーション力が、自分の人生を豊かに広げてくれるのです。今年もより多くの方と出会い、新たなおつきあひが始まることを楽しみにしています。



運命好転には「感謝思考」がカギ

取締役 **高島 正明**

言葉が脳と体に与える影響が非常に大きいことは、医療関係者からよく聞くことが多いと思います。前向きな言葉からは、心への影響としてやる気が起こる、行動が活発になると言うことが起こり、脳への影響としてドーパミン、エンドルフィンの分泌による治療に作用するメカニズムが働くそうです。嫌なことがあったら「ありがとう」良いことがあったら「感謝します」いつも前向きに「ツイてる！」の魔法の言葉（五日市剛氏 提唱者）を口にしてみたらどうでしょうか？ そんな感謝思考が身につくと運命が好転するかもしれません。肩から力が抜け、心穏やかに生活ができるのではないのでしょうか？

今年も一年、初心に戻って頑張っていきましょう。

～監査部 推進三課～

イワサキ経営グループの主軸である
監査業務は、推進一課、二課、三課の
3チームに分かれて稼働しています。
今回は中堅どころが揃う、推進三課をご紹介します。
さまざまなお客様との交流から見える、
伸びている企業、経営者の共通点を
挙げてもらいました。

監査部 推進三課
課長

島田 雅光

趣味はスイーツ食べ歩き
と日帰り温泉。妻と一緒に
買い物にもよく出かけま
す。どちらかというと、
女性スタッフと共通の話
題で盛り上がるタイプか
もしれません。



中堅メンバーが
揃う、大人の魅力？
あふれる
三課です。

サービス、建築、医療介護など多彩なジャンル
のお客様を担当する推進三課。課長の島田雅光
さんを中心にキャリア豊富なメンバーが揃っていま
す。そこで今回はメンバー紹介と併せて、各々が

担当している企業の経営者の方についてお話を伺
いました。

業績が好調な企業の経営者の共通点を挙げて
もらったところ、渡邊貴洋さんは「社員が社長を尊

会計業務を通して経営者の素顔に



敬している会社は、経営がうまくいっています。例えば経験の少ない若い社長でも、一生懸命な姿を社員に見せていれば、自然とみんながついてくる。そんな印象を受けます」。そして中西嘉門さんも「創業者社長は精神的にタフな方が多いですね。私より年下の20代でも、この人は凄いなあと思える人がいます」と、頷きます。

伊海清恵さんは「向上心が高くてアンテナが高い。例えば自分で補助金や融資の制度を調べて、早速申し込む方とか。みなさん、決断力、行動力が素晴らしいと感じています。そして過去は過去と割り切って、前に進む力が凄い。企業のリーダーにはそういう力が必要なのだと思います」と、具体的に魅力的な経営者の資質を挙げてくれました。また西島佳祐さんは、「お金の使い方が上手です。出すべきところは出す。いただくべきところは

ただく。経営者の方々の交際術を見ていると、生きたお金の使い方をされているなあと思心することが多いです」と、別の視点からの意見も。

課長の島田雅光さんは「メンバーの意見をまとめると、コミュニケーション能力が高く、常にポジティブというのが、今の時代の経営者に求められている要素ではないでしょうか。それに加えてもうひとつ、中小企業の場合、夫婦円満というのも大切な条件です。私たちは奥様とお話をすることも多いのですが、経営がうまくいっている企業は、例外なくご夫婦が同じ方向を見えています」。

いろんな企業でさまざまな経営者と接している推進三課のみなさん。今年は、地元の企業がより元気になるように、会計面でさらに多くのサポートをしていきたいと、抱負を語ってくれました。

触れる。自分も成長できる職場です。



監査部 推進三課
中西 嘉門

趣味はひとり旅。最近では電車で東北方面に出かけました。誰にも気兼ねなく、好きな場所を見て回ったり、お酒を飲んだり。休日にそんな時間を持つことが、いいリフレッシュになっています。

監査部 推進三課
伊海 清恵

海外のホラーやオカルト映画が大好き。シリーズでまとめて借りてきて、休日にじっくり鑑賞しています。自分も映画の中の主人公になりきってしまうことで、非日常の世界へとトリップできます。



監査部 推進三課
渡邊 貴洋

最近では読書に夢中。夜はもっぱら自宅の小説や自己啓発本を読みふけています。もともと体育会系だったので、今でも身体を動かすのは好き。今年は、時間があればサッカーを再開したいです。

監査部 推進三課
西島 佳祐

まだ子どもが小さいので、休日はイクメンに徹しています。子どもと手をつないでゆっくり歩くと、道端で小さな虫や草花を見つけたりと、いつもは見逃していたものが発見できて、案外楽しい時間です。



お客様訪問 大田呉服店さん

もっと着物を身近なものに！伝統を守りつつ新しい装い方や楽しみ方を提案。

県下最大級の振袖ショールーム「絹の館」。艶やかな振袖や帯がずらりと並ぶ広間は圧巻です。老舗ならではの豊富な品ぞろえと、常に新しい感覚を取り入れる先進性が繁盛の秘訣です。

伊ワサキ経営グループでは、多種多様なお客様の経営支援に携わっています。

今回ご紹介するのは、沼津、三島で着物の販売、レンタル、ヘアメイク、写真撮影などの
トータルサービスを手がける創業80年の老舗呉服店、大田呉服店さんです。

沼津駅北口からほど近い商店街。ショーウィンドゥに並ぶ艶やかな振袖に思わず目が留まります。大田呉服店の創業は今から80年ほど前。当時は布地を販売し、その後、呉服専門店になり、大田紀人社長が三代目を受け継いでからは、呉服店としての伝

統を守りつつ、成人式、七五三など人生の節目のイベントをトータルにサポートするサービスに重点を置いています。

「着物の販売だけではなく、着物を身にまとい人生の節目を祝うシーン全体を、トータルにサポートし

私の逸品

小さなこだわりが、仕事や趣味の世界を豊かにします。

二代目の靴べら

営業企画室 齊藤 豊

新卒入社した会社で、9歳年上の先輩から「営業マンは身だしなみが大切だから」と、入社祝いに靴べらをいただきました。数年間大切に使用していましたが、残念なことに引越で紛失してしまいました。先日、その先輩と久しぶりに再会し、靴べらを失くしたことを謝ったところ、「気にしなくていいよ。数年間も使ってくれたなんて嬉しい」と言って、なんと再び靴べらをプレゼントしてくれたのです。この靴べらを見る度に、先輩の思いやりが伝わってきて、今日も一生懸命頑張ろう！という気持ちになります。



ています。今のお客様が求めているのは、着物の着付けからヘアメイク、撮影までのワンストップサービスです。当店では早くからそのニーズに着目し、各種サービス部門の充実に力を注いできました」と、大田社長は経営戦略を語ります。

イワサキ経営グループとのおつきあいは10年ほど前から。大田社長が当グループ主催の経営セミナーに参加して下さったのがきっかけです。「私の代になってから、税理士事務所を何度か変えています。それは、より良い経営のパートナーを求めているからです。イワサキ経営さんのいいところは、会計だけでなく、事業継承、相続、保険などをすべてサポートして下さる、総合力の高さです。また節税対策にしても、いろんな角度からの提案をして下さり、頼りになる税理士事務所だと感じています」。

時には、担当者に厳しいことも言うという大田社長。「我々はすべての数字をさらけ出して、会計業務をプロに任せているのですから、それにきちんと応えてもらわなくては困るのです。親しき仲にもビジネスパートナーとしての緊張感、責任感を持つ。そういう関係の中で、お互いの信頼が深まっていくと感じています」。



宝石、アクセサリ部門「ビジュード・ヨーコ」も好評。また、ハロウィンに着物で出かけるなど、遊び心いっぱいの提案を若い世代に向けて発信しています。



県下最大級の振袖ショールーム「絹の館」にて、大田社長と当グループ財務コンサルティング事業部の山部 哲。年齢に近い二人は、仕事以外の話で盛り上がることもしばしばです。

公私にわたっていろんなお話ができる 人生の先輩です。

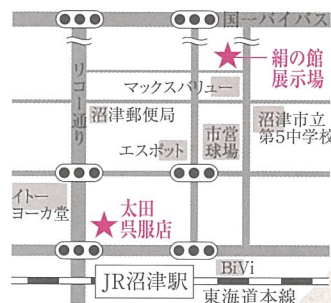
大田社長は、地域活動にとても力を注いでおり、沼津や三島のまちづくりにも貢献されています。私もプライベートで地域活動に関わっているの、組織のまとめ方などについて、相談に乗ってもらうことも多々あります。仕事では、辛口の意見をいただくこともありますが、それによって私たちが気持ちを引き締めることができます。おつきあいが長くなっても慣れ合うことなく、経営面で最善の提案ができるようこれからも勉強を重ねていきます。

財務コンサルティング事業部 山部 哲

SHOP DATA

大田呉服店

〒410-0056
沼津市高島町 3-3
TEL / 055-921-3364 (代)
営業時間 / 10:00 ~ 19:00
定休日 / 火曜日
<http://www.20-753.com>
<http://ota-kimono.com>



社員のお気に入りアイテムをご紹介! ————— Masterpiece for myself



仕事の相棒バッグ

総務課 戸塚愛子

10年前、当社への就職が決まった時、通勤用にこのバッグを買いました。当時の私には勇気の要る買物でしたが、飽きのこないデザインが気に入ったので、長く使おうと決めました。以来10年間、毎日欠かさず使っています。このバッグを持つと、仕事モードにスイッチが切り替わり、気持ちがシャキッとするんです。傷や汚れも目立ってきましたが、使い込んでいい味わいも出てきたので、ますます愛着が湧いています。使える限りはこのバッグを使っていきたいです。



去る11月6日、ホテル沼津キャッスルにて、カレーハウスCoCo壱番屋創業者の宗次徳二氏をお迎えし「経営支援セミナー 2015～経営とは『継栄』～」についてご講演いただきました！当日は、経営に携わる大勢の方々にご参加をいただき、大盛況のうちに無事終了することが出来ました。ありがとうございました。



11月20日には、サンウェルぬまづにおいて、相続手続支援センター静岡の「相続大喜利」セミナーが開催されました。趣向を凝らしたセミナーで、ご参加いただいた皆様にもとても喜ばれました。ありがとうございました。



- 笑った、笑った、とても楽しいセミナーでした。(小口様)
- 遺言書の必要性を感じた。(中川様)
- 具体的な話がいろいろ聞けて参考になりました。(杉山様)
- ありがとうございます。楽しく聞かせていただきました。(渡邊様)
- 本日の大喜利、楽しく、また中身の濃いものでした。(杉山様)

- 経営計画の作成について重要性を再認識しました。
- お客様を大切にする気持ちが良く伝わってきました。そういうマインドが根底にある会社だからこそ、価格競争に頼らず成長できると感じました。
- 「周りの人の役に立ちたいと思う心」が全ての原動力だと感じました。
- 「クリームは宝の山」と言う言葉が心に響きました。
- お客様を第一にするという事を日々実践していきたいと思います。
- 経営に関する様々な難しい用語や事例などを噛み砕いてわかりやすく説明していただきより一層理解が深まります。